

十二月二五日

九時四五分小田急線喜多見。現場で職人さん達と打合わせ。職人との打合わせは面白い。昼過もう一つの現場を見て廻る。来年以降のプログラムを考え始めている。体力はどうやら底を打って、明らかに上向いている。調子に乗らずにグデグデと復調したい。はるかに過去になってから良く考えてみる事にするが、私の六〇才は仲々であったかはこれから作ろうとしているモノに現われるだろう。又、身の処し方にも反映される筈だ。

十二月二六日 日曜日

終日、開放系技術・デザイン論ノート書きすすめる。夕方環八沿いのドン・キホーテ火災現場取材。深夜、頭を少し休ませようとカバーコラムを書こうと試みるも頭ばコラム向きにならず一行も書けず。しかしながら一日の成果に久し振りに満足する。頭脳も身体の一部であるのを思い知る。切り換えはそんなに簡単ではないのだ。

この調子で進められれば正月明け迄に百枚くらいは行けるかも知れぬ。論が順調に行けば、デザインはあとから自然に湧いて生まれてくるのを信じよう。

十二月二七日

朝刊はインドネシアの大地震の報道が大きく報道されている。津波による死者も含めて八千人以上とも、六千人以上ともあった。

九・一一WTCテロ以上の犠牲者が出たようだ。ドン・キホーテテロの報道はこの天災による被害報道に隠されて小さいものであった。細部が描けないと大論も空疎なものになってしまいが、マスメディア自体も当然ながら自然とも思われる力学に支配されているのを知る。

午前中プノンペンの渋井さん、ピースウインズの根木さん来室。ひろしまハウスの打合わせ。朝広島から平岡さんの電話も入り、2005年には完成させるぞという気持ちになってきた。十四時過新木場現場へ。十七時過迄。二十二時世田谷村にて中川さんと打合わせ。